

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	発注者問題小委員会		主 査 名：古阪秀三 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤正雄 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	発注者の役割特別研究委員会において明らかになった建築プロジェクトにおける発注者の実態を受けて、次の 3 点に的を絞って活動する。 1. 今日の建築生産システムにおける発注者の役割の明確化 2. 大学等教育機関における発注者教育の検討 3. 発注者を評価する(褒める)仕組みの構築		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 安藤正雄(千葉大)、高田光雄(京大)、平野吉信(広島大)、賀来高志(野村不動産)、片田和範(森ビル)、南一誠(芝工大)、川元茂(国土交通省)、楠山登喜雄(フタバエンジ)、斎藤隆司(日本郵政)、小野田泰明(東北大)、藤井晴行(東工大)、齋藤広子(明海大)、布野修司(滋賀県立大)、岡正信(BLL)、古阪秀三(京都大)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2012 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	名称：建築プロジェクトにおける発注者像とその評価 参加者数 21 名 資料名：建築プロジェクトにおける発注者像とその評価
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	1. 発注者を評価する(褒める)仕組みとして、「発注者評価マトリックス」を作成し、委員所属の企業並びに雑誌等で話題のプロジェクトの評価を試みた。 2. その結果を、ミニシンポジウムを開催して公表し、発注者のみならず、より広範な活用への知見を得た。 3. これらのことから、当初の目標にほぼ到達していると評価する。
委員会活動の問題点 ・課題	1. できるだけ分野、地理的に広く委員を募ったため、旅費の自己負担が大きい 2. 非専門的発注者(一般居住者、一般企業)の見解を把握しにくい。